|  |
| --- |
| Flow Chart for Selecting Commonly Used Statistical Tests |

## ウィルコクソンの順位和検定とステューデントのt検定について

* 通常、ウィルコクソンの順位和検定の方がp値が大きくなるため、帰無仮説を棄却しづらい
  + t検定よりもβエラーの確率が高く(検出力が低く)、代わりにαエラーを発生させる確率が低い。
  + 上記の点より、ウィルコクソンの順位和検定は保守的だとされる

## 対応あり／なしの違い

* (参考) <https://imnstir.blogspot.com/2017/10/blog-post_5.html>
* 対応なし
* 対応あり